

eco-digital era™

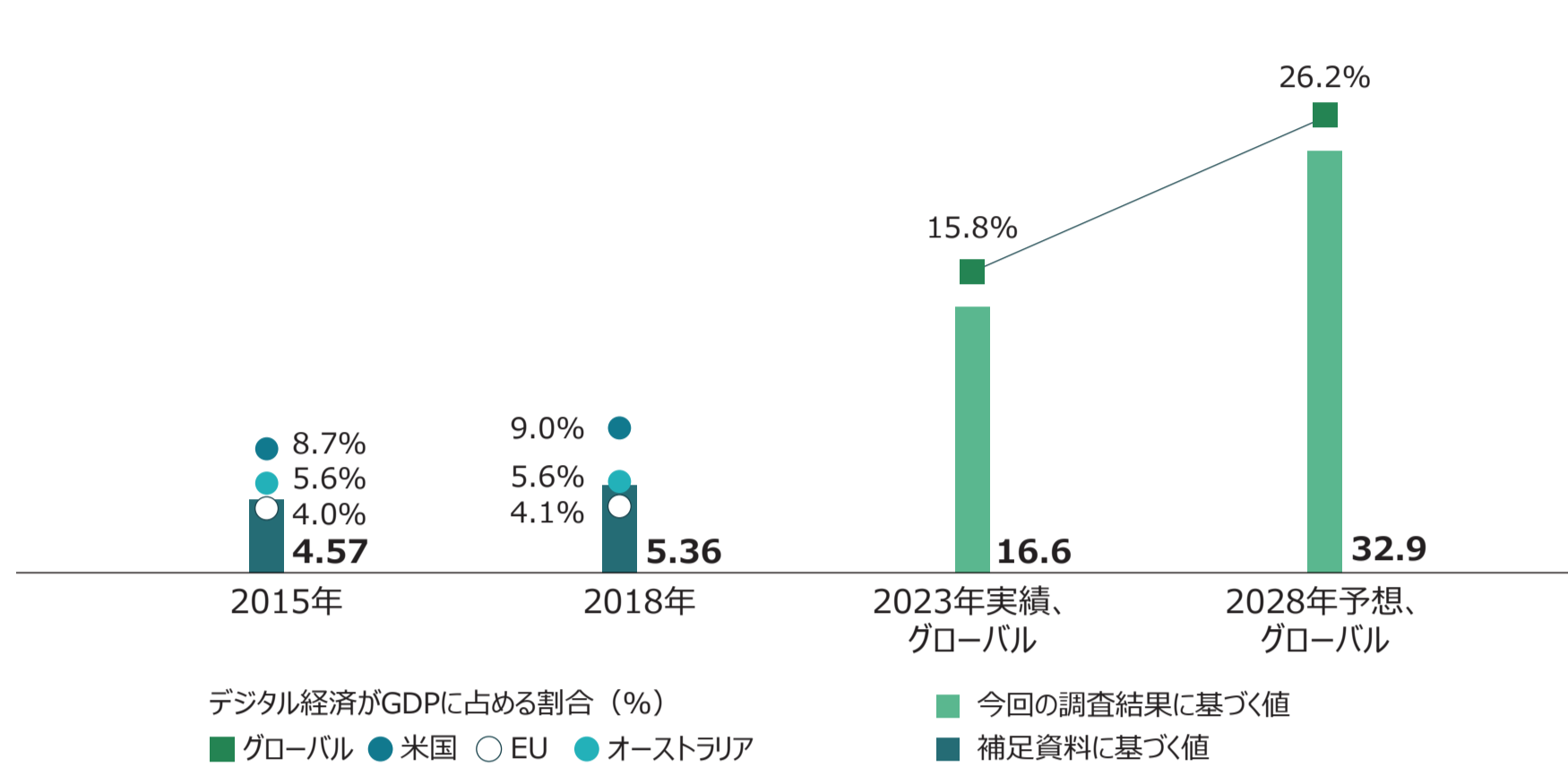
持続可能なデジタル経済に向けた2つの変化

経済・環境・社会的な価値の提供に向けて、経済には2つの変化が起きつつあります



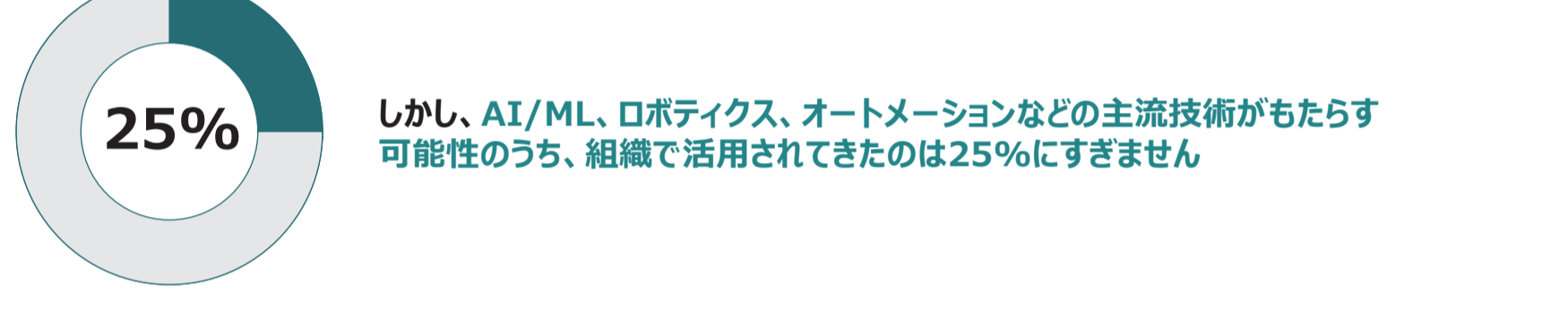
エコデジタル経済の規模は今後5年間で2倍になる見通しです

エコデジタル経済の規模



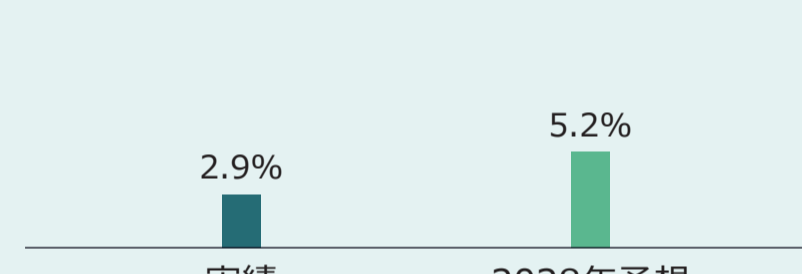
出典：キャプジェミニ・リサーチ・インスティテュートおよびDigital Value Lab (Digital Data and Design Institute at Harvard)、Eco-Digital Survey、2023年5～6月、N=1,505 (経営幹部)、N=150 (組織のデジタルリーダーである経営幹部)、キャプジェミニ・リサーチ・インスティテュートによる分析。

デジタルテクノロジーによる排出量削減効果は排出量自体を上回り、今後5年間で排出量純減を達成すると見られます



売上に占めるデジタル投資の割合は今後5年間で倍増する見込みです

売上に占めるデジタル投資の割合 (%)、実績値と予想値



デジタル関連の年間投資利益率、実績値と予想値



出典：キャプジェミニ・リサーチ・インスティテュートおよびDigital Value Lab (Digital Data and Design Institute at Harvard)、Eco-Digital Survey、2023年5～6月、N=1,505 (経営幹部)、N=972 (デジタルおよびイノベーションのリーダーである経営幹部)。

主流デジタル技術 (データ分析、クラウドなど) の採用拡大により、新たな収入源の発見、コスト効率の向上、持続可能性活動の加速が実現します

半分近い組織が、新興技術 (生成AI、エッジコンピューティング、デジタルツイン、合成生物学など) が持つ可能性を活かすための戦略を開発中です

組織は持続可能性を高めるために、テクノロジーを幅広く活用しています



組織の持続可能性向上に役立つ主なテクノロジー活用方法

AR/VRまたはコラボレーションツールの使用による、移動の必要性低下と共同作業の質の向上	製造過程でのエネルギー消費量/排出量の監視、予測、最適化
バリューチェーン全体の追跡と、共通目標に向けた参加者の連携	デジタルツールを使用した製品のライフサイクルアセスメント (LCA)

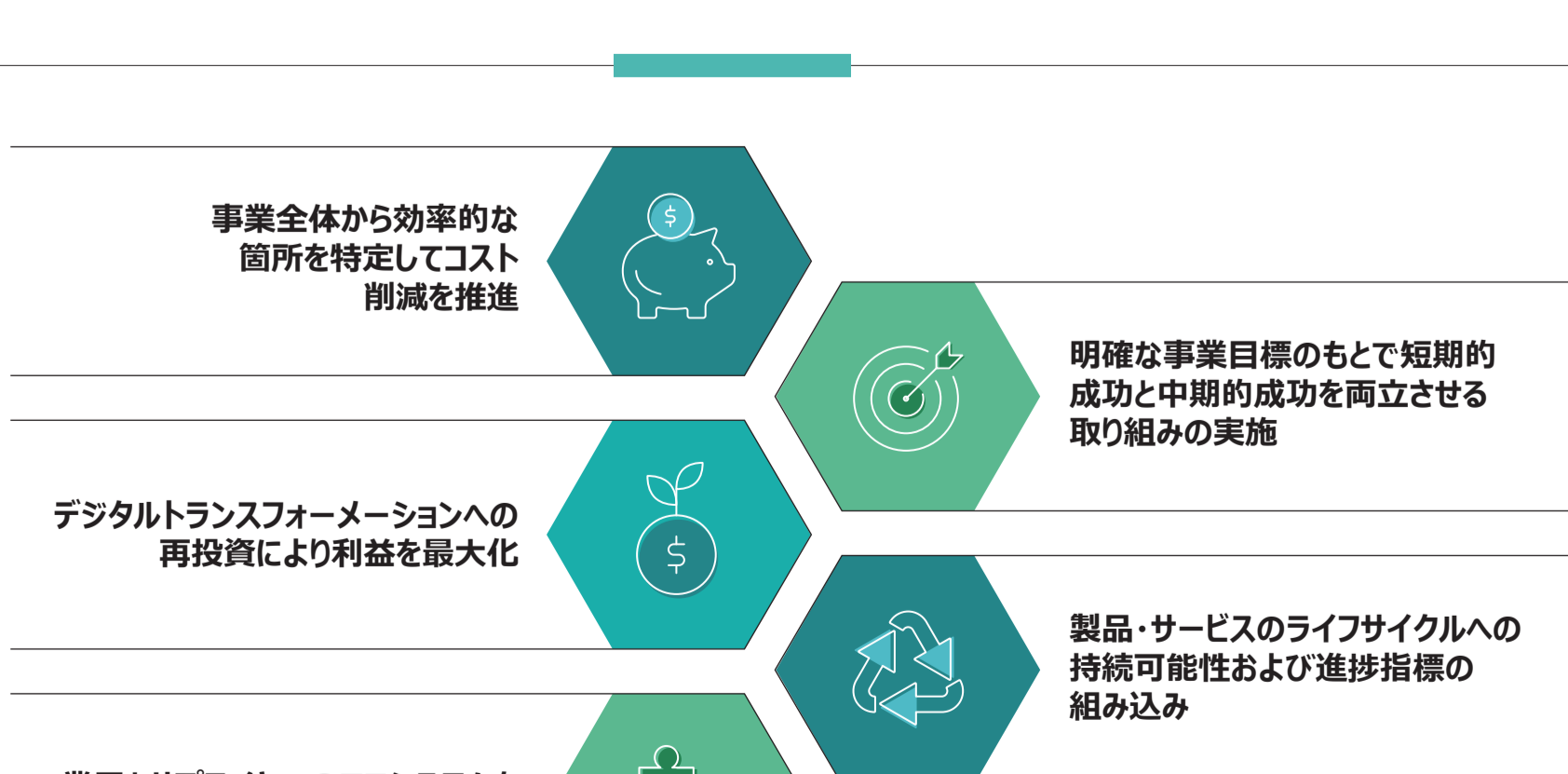
デジタル技術を活用する組織には、多大なメリットがもたらされます

デジタル技術の実装によってもたらされるメリットの大きさ

	過去5年間で享受したメリットの割合 (%)	今後5年間で享受が見込まれるメリットの割合 (%)
顧客のエンゲージメントと満足度の向上	24%	36%
業務効率の向上	24%	36%
サーキュラリティの向上 (廃棄物管理の最適化)	25%	36%
温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	21%	31%

デジタル技術は、雇用創出、バイアスの軽減、スモールビジネスの推進、その他多数のメリットを通じて社会に良い影響を与えます

eco-digital era™の機会を活かす方法



出典：キャプジェミニ・リサーチ・インスティテュートおよびDigital Value Lab (Digital Data and Design Institute at Harvard)。

レポートのダウンロード

レポート購読の登録